

農村の景観を保全する働き

～農業の営みが「ふるさと」の美しい風景を守る～

農村地域では、農業が営まれることにより、田畑に育った作物と農家の家屋、その周辺の水辺や里山が一体となって美しい田園風景を形成しています。



(一社)北海道土地改良設計技術協会主催「10の農村フォトコンテスト」応募作品



桜の花が咲き誇る春の樹園地（山梨県甲州市）



彼岸花があぜを赤く彩る顧田（奈良県明日香村）



「はざかな」の田んぼと茅葺きの民家（京都府美山町）



田植え前の水を湛えた畦田（大阪府千早赤阪村）



山麓に広がる新緑の茶畑（静岡県掛川市）



屋敷林に囲まれた散居集落（山形県鮎川町）

COLUMN

農の風景を構成する小さな世界

農村の風景を構成する作物にも、自然を物語る固有の美しさがあります。ひとつひとつの小さな生物が育まれて、農村の風景が作られています



文化を伝承する働き

～農業の営みを通じて地域の伝統文化を受け継ぐ～

全国各地に残る伝統行事や祭は、五穀豊穡祈願や収穫を祝うもの等、稲作をはじめとする農業に由来するものが多く、地域において永きにわたり受け継がれています。



多賀大社の御田植祭（滋賀県犬上郡）
ご神田をお清めする御田植式が行われ、田植え歌と田植え踊りに合わせ乙女によりご神田にお田植えが行われる。



壬生(みぶ)の花田植（広島県北広島町）
稲作の平穏と豊穣を祈り、田植え作業を楽しくしようと生れた行事。初夏を彩る壮大な田園絵巻です。



せつとべ（鹿児島県日置市）
白装束姿の若者が肩を組み円陣を組んで飛び跳ね泥まかれになって豊作を祈願します。



岳の麓(たけのふもと)（長野県上田市）
別所温泉に伝わる雨乞いの祭。竹ざおに色とりどりの反物をくくりつけた幟の行列が練り歩きます。



ねつおくり（富山県南砺市）
子どもたちが「ネットウクルパイ」と言いながら竹で田んぼを払い、稲の病虫退治を願います。



抜穂祭(ぬきほまつり)（佐賀県鹿島市）
神様にお供える稲を収穫する祭。豊年の秋を笛で奏でながら神社の御斎田で巫女が稲を刈り取ります。



節祭(しち)（沖縄県竹富町）
収穫に感謝し来年の豊作を祈願する祭。五穀豊穣をもたらす神を迎えるための奉納芸能が行われます。



似島(にたどり)のサイトギ（岩手県二戸市）
燃えさかるサイトギ（井桁に組んだ木のやぐら）を木の棒で揺さぶり、炎と火の粉を舞い上げ作戦を占います。



阿月の神明祭(しんめいまつり)（山口県柳井市）
高さ約20mの御神体を東に2本起し立て、無病息災、五穀豊穣、厄除けを願います。